

# 鹿児島大学障がい学生支援シンポジウム 2017 開催報告

## 概要

日時 平成 29 年 9 月 1 日 [金] 14:00~16:00 会場 鹿児島大学学習交流プラザ 2F 学習交流ホール

総司会 前田 雅人 (本学副学長 法文教育学域教育学系教授 障害学生支援センター長)

開会挨拶 清原 貞夫氏 (本学理事 教育担当)

第一部：基調講演「九州大学における障がい学生支援—発達障害のある学生を中心に—」

講師 面高 有作氏 (九州大学 基幹教育院 キャンパスライフ・健康支援センター

コミュニケーション・バリアフリー支援室特任助教)

第二部：トークセッション「大学生の支援について」

司会：今村 智佳子 (本学障害学生支援センター特任助教)

助言：面高 有作氏

ゲスト①：高橋 玄一郎氏 (本学総合科学域総合教育学系総合教育機構共通教育センター 教授)

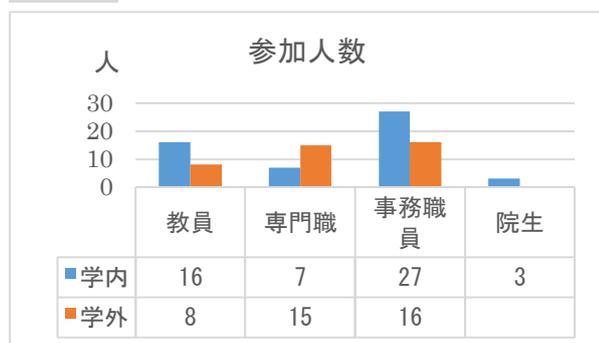
ゲスト②：永田 純子氏 (本学保健管理センター カウンセラー)

閉会挨拶 前田 雅人

情報保障 本学学生による PC テイカー 線音源スピーカー

## 参加人数及びアンケート結果

### 参加人数



### 参加人数

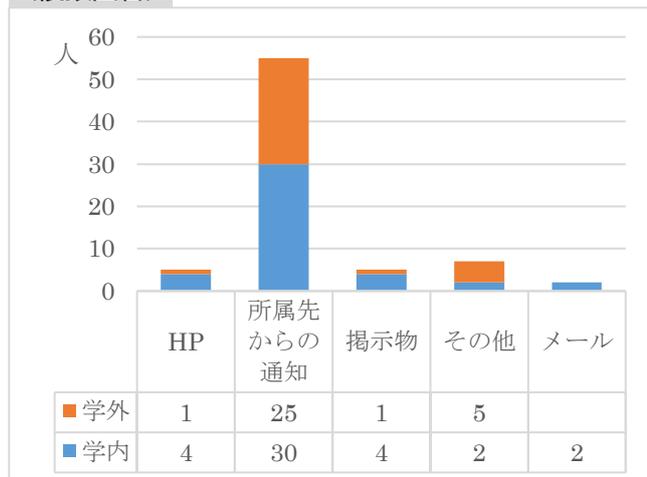
(学内 53 名 学外 39 名 計 92 名)

### アンケート回答数

(学内 39 名 73.58% 学外 31 名 79.49%)

### このシンポジウムをどこでお知りになりましたか？

(複数回答)



### 平成 28 年 4 月より障害者差別解消法が施行されましたが、ご存知ですか？

	知っている	あまり知らない	知らない	回答なし
学内	29	5	3	2
学外	29	2		
合計	58	7	3	2

### 基調講演の感想をお聞かせください。

(人)	とても良かった	良かった	普通	あまり良くなかった
学内	25	13		1
学外	15	16		
合計	40	29	0	1

### (基調講演の感想)

- ・九大の積極的な活動にびっくりした。(本学教員)
- ・九大での取り組み、障害学生への対応の大きさが理解できた。対応すべき内容の考え方、学生育成の話が大変参考になった。(本学教員)
- ・欠席カウントシステムは取り入れれば良いと思った。(本学教員)

- ・事例や具体的な話題が多く、今後の支援に有用だった。(本学教員)
- ・九大での取り組みが聞けて良かった。ピアサポーターの育成等、興味があるものだった。(本学専門職員)
- ・知らないことが多くてたくさん学べた。(マイクなどの設備) また、学生生活(アルバイトやインターンシップ)の支援なども考えていなかったのでも今、考えていきたい。(本学事務職員)
- ・発達障害をお持ちの学生にたいする支援のあり方、事務ができる事など大変ためになるお話だった。教職員の意識改革の重要性がよく分かった。(本学事務職員)
- ・具体的な取り組みについて話が聞けて良かった。時間が足りないのが残念だった。(本学事務職員)
- ・九大の学生が作成したポスターがすばらしいと思った。特に「私のレーンこう見えてちょっと大変なの」のフレーズがぐっときた。また「根拠に基づいた特別扱い」や「好意だけでできる事ではない」ということが、合理的配慮の難しさだと考えた。(本学院生)
- ・まとめの7項目をゆっくりメモすることが出来た。パソコンテイクもあり助かった。(学外専門職員)

トークセッションの感想をお聞かせください。

	とても良かった	良かった	普通	回答なし
学内	18	14	2	5
学外	14	13	2	2
合計	32	27	4	7

(トークセッションの感想)

- ・それぞれの先生方の話が興味深かった。特に専門でない教員がつまずきのある学生に気付くという視点や先生の態度に感動した。(本学教員)
- ・ピアサポート、学生担当事務、教員による支援の重要性を(第一PY、第二PYの支援)再確認出来てとてもすばらしい話だった。(本学教員)
- ・事例や困りなどが含まれていて実りある内容だった。(本学専門職員)
- ・実際の例を交えながら、教育・専門の部分から話を聞くことが出来て、勉強になった。(本学専門職員)
- ・身近に支援を必要としている学生がいるということを考えさせられた。改めて学生対応する際に、支援を必要としている学生であるかどうか気付けるように意識して対応しようと思った。(本学事務職員)
- ・全体の時間を考えると難しかったのですが、もう少し話が聞きたかった。(本学事務職員)
- ・学内事例の把握と今、我々が考えなければならない点について知ることが出来た。(本学事務職員)
- ・フロアの職員から様々な質問が聞けて大変勉強になった。(本学院生)
- ・事例を教えて下さったことで分かりやすかった。取り組みをすることで、教員が元気をもらい、他の学生にも良い効果が出たことが印象的だった。(学外教員)
- ・学生の状況について周りがしっかりとキャッチすることの重要性について勉強になった。(学外専門職員)

6. 障害を有する学生やつまずきのある学生との関わりの中で、困った経験等があれば、お書きください。

- ・学習障害の学生に対する対応、「障害」なのか「生活」や「行動傾向」なのか判断に迷うことがある。(本学教員)
- ・本人が自分は別に異常はない(障害はない)と言っている時は保健管理センターに行くことを促すことが出来ずに悩む。教員間の情報共有をする時に本人のプライバシーが気になる(全体に伝えるべきか関係者のみにするか)(本学教員)
- ・先日鹿児島市で起きた地震でEVが止まった。足が不自由な学生が7階に上がるためにEVを使ったそうにしていたが、EVを使用することが出来なかった。(本学事務職員)
- ・卒論時にトラブルが発生しやすく、卒業延期や退学につながるケースが多い。(本学事務職員)
- ・窓口に行きづらい様子を見かける。今後は部屋に入るきっかけになりうるもの(ノックやベル等)を設置し、利用しやすい窓口を目指したい。(本学事務職員)
- ・発達障害学生は以前伝えたから良いと思い、伝えずにいたことでトラブルが起こった。いろいろな発達障害があることも理解しておく必要がある。聴覚障害学生が筆談を拒否し困った。学生同士では口を読んでもらっていることのことであった。(学外事務職員)

7. その他ご感想やご意見、今後講演で取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・ 就労支援（本学教員）
- ・ 情報共有のシステム導入（本学教員）
- ・ 事例を交えた講演は分かりやすい（本学専門職員）
- ・ 線音源スピーカーは聞き取りやすかった。（本学事務職員）
- ・ パソコンテイクは聞き逃した時など分かりやすかった。（本学事務職員）
- ・ 障害を有する学生に対する対応だけでなく、周囲の学生への対応を教えてください。（本学事務職員）
- ・ 情報共有が必要だと思った。（本学事務職員）
- ・ 学生の対応が向上するよう、部署内で考えていきたい（本学事務職員）
- ・ 保健師として住民の支援をする際に役立てたい（本学院生）
- ・ 事例検討会をして頂きたい。（学外教員）
- ・ 障がい学生の就職支援の内容を多くした事例を聞きたい。（学外事務職員）
- ・ 保護者と本人の意見が合わなかったが解決したケースを聞きたい（学外事務職員）

写真

開会の挨拶



講師紹介



第一部基調講演



第二部 トークセッション



閉会



聴講風景



PC テイカー

